

哺乳類学の百科事典

一般社団法人 日本哺乳類学会 編

A5判・516頁 定価 24,200円(本体 22,000円+税10%)

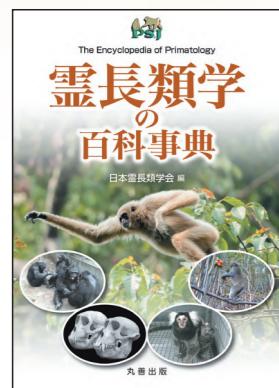
ISBN978-4-621-31196-7

多様性あふれる哺乳類について、
分類・分布・遺伝・形態・生理・生態・保護管理の観点から充実解説

海・陸・極地などさまざまな地域に生息し、そのためにさまざまな形態や機能をもつ多彩な哺乳類について、分類・分布・遺伝・形態・生理・生態から、保護管理や人獣共通感染症といった人間とのかかわりまで、幅広く解説した中項目事典。第一線の研究者による、自身のフィールドワークなどに基づくさまざまな事例を交えた解説が充実。巻頭図では、多様性あふれる哺乳類の姿を写し出す色鮮やかな写真を豊富に掲載!



関連書籍



霊長類学の百科事典

日本霊長類学会 編

A5判・752頁
定価 27,500円(本体 25,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30804-2

日本霊長類学会の編集による、霊長類を総合理解するために編まれた中項目事典。ヒトのもつ形質の起源とその進化の研究にも活用でき、人類学的関心の追求にも役立つ。



古生物学の百科事典

日本古生物学会 編

A5判・790頁
定価 26,400円(本体 24,000円+税10%)
ISBN 978-4-621-30758-8

生命誕生の38億年前からの長大な生命史の重要ポイントを305項目で解説。関連分野の地質学、生物学、進化学、地球化学、環境学などの情報も俯瞰的に知ることができる。

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 営業部 TEL(03)3512-3256
FAX(048)852-5591(受注センター) <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

2025年11月刊行 ご注文はお近くの書店まで

注文書

哺乳類学の百科事典 定価 24,200円(本体 22,000円+税10%)
ISBN978-4-621-31196-7

お名前

ご住所 〒

TEL

※ご注文をいただいた個人情報は、書店・取次(流通)・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。

取扱店

tkp.Ib



刊行にあたって(一部抜粋)

本事典は、哺乳類学を広く知りもらうことを目的として企画された。哺乳類学とは何だろうか。哺乳類学は、生物学や動物学の中でも、哺乳類がもつ多様性、自然史、人との関わりを解明する研究分野といえ、野生動物のほか、モデル動物や伴侶動物も研究対象となる。哺乳類学の研究者は、野外調査、実験室での実験や解析、研究成果の発信に日々取り組んでいる。(中略)

哺乳類は世界中に分布し、陸地、海洋、河川、空中といった多様な生活空間を利用している。そうした多様な生息環境に適応するために、多くの系統が生み出され、形態、遺伝、生理、生態、社会、生活史を進化させてきた。陸棲哺乳類は森林をはじめ、里山、耕作地、河川敷に分布し、ときに市街地で見られることもある。また、海棲哺乳類は海洋環境に生息している。このことから人間活動によって生息地が失われ、生息環境が変化するなどの人間からの影響を受ける。一方で、農林業被害や人獣共通感染症をはじめとして、人間活動に対する哺乳類が引き起こす影響も少なくない。したがって、哺乳類学ではそれぞれの種の基礎生物学を明らかにすることと同時に、保全管理の研究も行われている。(中略)

本事典は日本哺乳類学会が主体となり企画した。(中略)本事典には、各項目を最も理解している171名の執筆者をはじめとして多数の哺乳類学研究者が関わった。各項目はそれぞれが完結するように書かれ、それぞれの章では各項目を適切な順番に配置した。したがって、通読するだけでなく、興味をもった章、あるいは興味のある項目から読んでいただきたい。また図鑑には、日本に生息する哺乳類の写真をカラーで掲載しており、本文と併せて哺乳類の多様な姿を知る一助となれば幸いである。本事典により、哺乳類学の現在を多くの方に知りもらうとともに、高校生や大学生などの若い世代から哺乳類学の研究者を目指す人が現れることを願っている。

2025年10月

編集幹事を代表して 一般社団法人日本哺乳類学会理事長
本川 雅治



【写真提供】(50音順)

宇野裕之・江成広斗・大沢タ志・岡部晋也・高田隼人・三谷曜子・村上隆広・本川雅治・谷戸 崇



目 次



1 哺乳類の進化・系統分類

哺乳類学の歴史/日本における哺乳類学史/哺乳類とは何か/爬虫類から哺乳類への進化/哺乳類の多様化と適応放散/哺乳類にみられる形質とその変異/平行進化・収斂進化/海に適った哺乳類/翼を手に入れた哺乳類/地中適応を遂げた哺乳類/種とは何か/学名と和名/種分化/新種・隠蔽種/種内形態変異と可塑性

2 哺乳類の多様性

現生哺乳類の高次分類と系統/単孔目/有袋類/長鼻目/海牛目/そのほかのアフリカ獣類/異節類(有毛目と被甲目)/食肉目/鱗甲目/偶蹄類/鯨類/奇蹄目/真無盲腸目/翼手目/靈長目/登木目/皮翼目/齧齒目/兎形目



3 哺乳類の分布

生物地理:世界/生物地理:日本/旧北区の哺乳類/エチオピア区の哺乳類/東洋区の哺乳類/オーストラリア・オセアニア区の哺乳類/新北区の哺乳類/新熱帯区の哺乳類/日本の哺乳類/生物多様性ホットスポット/分布境界線/系統地理/島嶼/標高分布:スカイ・アイランド/地理的隔離/森林/農地/都市/洞窟/河川/湖沼/沿岸/海洋

4 哺乳類の形態

頭蓋/歯牙/咀嚼器/眼/鼻/喉頭/消化管/胸郭と椎体/四肢/肢端と爪/尾/雌の生殖器/雄の生殖器/発生/角/遊泳器/反響定位器/新奇骨格



5 哺乳類の遺伝

遺伝子とゲノム/染色体/性決定/マイクロサテライト/転移因子/内在性レトロウイルス/分子進化/分子系統樹/集団遺伝学/保全遺伝学/ゲノム時代の到来/ゲノム解読の方法/哺乳類の毛色と遺伝子/性格関連遺伝子/感覚受容体遺伝子/解毒代謝/収斂進化/古代DNA/マイクロバイオーム/トランスクリプトーム解析/DNAメチル化/エボデボ/iPS細胞

の制御機構/妊娠と繁殖遅延/出産の機序と難産/オスの繁殖/毛の役割と換毛/栄養素の種類と役割/消化と吸収/代謝/外呼吸と内呼吸/水分の保持機能/運動を司る骨格筋/移動のナビゲーション

コラム 哺乳類の病気

7 哺乳類の生態

食性/生息地利用/日周活動/行動圏となわばり/生活史戦略/個体数変動/個体群の空間構造とメタ個体群/パルス資源/食物網/捕食・被食/スカベンジング/競争と促進/寄生/労働寄生/多種共存/混群/植物の被食防御/系外資源/生態系機能



8 哺乳類の社会

社会の進化/配偶システム/分散か定住か?/メスの繁殖戦略/オスの繁殖戦略:オス間競争/オスの繁殖戦略:オスどうしの協力・オスによる子殺し/子育て:母による・父による・親子の対立/子育て:共同繁殖・ヘルパー・おばあさん仮説/社会性の個体内発達/コミュニケーション:集団の社会的な維持機能/コミュニケーション:オス・メス間/コミュニケーション:母子間/コミュニケーション:信号の信頼性・だまし/協力/遊び/文化/学習/ヒトの行動の進化/ヒトの社会

9 哺乳類の保全管理

日本産哺乳類の歴史/陸上生態系への影響/海洋生態系と環境/哺乳類と法律/天然記念物/絶滅種・絶滅危惧種/外来哺乳類/ワシントン条約/個体群管理/生物的管理ユニットと社会的管理ユニット/生息地管理/イノシシ対策としての耕作放棄地管理/野生動物の被害管理/野生動物と交通事故/人獣共通感染症/自然資源としての野生動物の利用/捕鯨は狩猟である/野生動物の観光や教育資源としての利用/海棲哺乳類の汚染と影響/放射線の影響



10 哺乳類の研究手法

生きている野生動物の研究/死んだ野生動物の研究/博物館標本を用いた研究/実験動物を用いた研究/家畜・伴侶動物を用いた研究/動物福祉/個体数センサス/個体識別/哺乳類の行動観察法/野生哺乳類の捕獲技術/バイオロギング・テレメトリー/自動撮影カメラ/ドローン/解剖/齧歯定/化学マーカー/環境DNA/海棲哺乳類の鳴音モニタリング/考古動物学/伝統的な生態学的知識

11 日本の哺乳類の現状と課題

真無盲腸目:トガリネズミ科・モグラ科/翼手目:コウモリ類/霊長目:オナガザル科/食肉目:イタチ科/食肉目:クマ科/食肉目:イヌ科・イタチ科(アナグマ属)/食肉目:アザラシ科・アシカ科/食肉目:マングース科/食肉目:アライグマ科/鯨偶蹄目:イノシシ科/鯨偶蹄目:シカ科/鯨偶蹄目:ウシ科カモシカ属/鯨偶蹄目:ウシ科ヤギ属/齧齒目:リス科/齧齒目:ネズミ科/兎形目:ナキウサギ科・ウサギ科/鯨偶蹄目:鯨類/海牛目:ジュゴン科

6 哺乳類の感覚・生理

視覚と色覚/聴覚/嗅覚/味の分類と味覚/触覚/生物リズム/睡眠と休息/日内休眠と冬眠/ストレス応答とそのモニタリング/発情とその制御機構/妊娠と繁殖遅延/出産の機序と難産/オスの繁殖/毛の役割と換毛/栄養素の種類と役割/消化と吸収/代謝/外呼吸と内呼吸/水分の保持機能/運動を司る骨格筋/移動のナビゲーション